

特許について調べるには

改訂3版 令和8年3月 相模原市の図書館 発行

特許について、様々な角度からの調べ方をご案内します。

特許とは、法律に定められた要件を満たしている発明に対し、独占的に利用できるように行政（特許庁）が権利を与える行為のことです。パテントともいいます。

特許などを代表とする知的財産権には次の種類があり、それぞれの法律により保護されています。

知的財産権

知的創作物を保護

- ・ 特許権
- ・ 実用新案権
- ・ 意匠権
- ・ 著作権
- ・ 回路配置利用権
- ・ 育成者権
- ・ 営業秘密

営業標識を保護

- ・ 商標権
- ・ 商号
- ・ 商品等表示
- ・ 地理的表示

この中の特許権、実用新案権、意匠権、商標権を産業財産権と呼びます。

※法令は改正や、廃止されている場合があります。「いつ現在で有効な法令」であるかをご確認のうえ、ご利用ください。

1 OPACで調べる

図書館の利用者用検索機（OPAC）やホームページの資料検索でキーワードを入力して検索してみましょう。検索したら、「タイトル」「所蔵場所」「分類」をメモしましょう。

相模原市の図書館トップページ>資料検索

<https://www.lib.sagamihara.kanagawa.jp/toshow/html/BookSearch.html>

うまく検索できないときは？

キーワードを変えて、もう一度検索しましょう。

例) 「特許」 → 「発明」又は「パテント」など



<所蔵館の表示>

- ・ 市立→市立図書館
- ・ 大野→相模大野図書館
- ・ 橋本→橋本図書館

2 図書で調べる

(1) 知的財産権・特許権について調べる

■ 『日本知的財産史事典』

日外アソシエーツ／編集 日外アソシエーツ 2025 (市立・大野・橋本)
1868年から2025年までの知的財産権に関する事柄や事件などが一覧できる事典です。特許権・実用新案権・意匠権・商標権・著作権を中心に、国内の法律の公布、改正や海外での出来事まで幅広く記録されています。

■ 『特許法・著作権法』第4版

小泉直樹／著 有斐閣 2024 (大野)
知的財産法の中の特許法と著作権法について、基本となる条文や判例を解説しています。特許の出願を考えている方、各法について学びたい方などに向けた基礎的な資料です。

■ 『特許・実用新案の法律相談』1・2

小松陽一郎・伊原友己／編 青林書院 2019 (橋本)
特許法、実用新案法は数年の間に重要な判決や法改正が次々に行われています。これら2つの法に関する様々な疑問を、この分野に詳しい弁護士や弁理士がQ&A形式で分かりやすく解説しています。令和元年法案に対応した内容で、国内だけでなくグローバルな設問も載っています。

■ 『世界の知的財産権』

大樹七海／著 正林真之・大熊雄治／監修 経済産業調査会 2021 (市立)
世界で特許出願件数の多い日本・米国・欧州・中国・韓国と、日本と関わりが深い台湾の知的財産権制度について解説しています。関連する機関や団体が掲載されており、保護活動を行う際にも活用できる資料です。また、国連の専門機関である世界知的所有権機関(WIPO)の歴史や役割についても調べることができます。

(2) 特許の出願について調べる

■ 『特許明細書の書き方』改訂10版

伊東忠重／監修 ITOH／編 発明推進協会 2024 (橋本)
特許を出願する際には、願書・特許請求の範囲・明細書・図面・要約書の5つの書類を提出します。中でも発明者の求める範囲で発明を保護し、活用するために重要なのが明細書です。発明の技術説明や保護の範囲を明確に記述するための方法が本書で解説されています。

■ 『すぐに役立つ入門図解特許・商標の法律と出願・申請手続き』

渡辺弘司／監修 三修社 2024 (大野)
特許と実用新案、商標の申請手続きの仕方や提出書類の作成方法が、図やフォーマットを用いて分かりやすく説明されています。権利侵害が発生した際の対策まで網羅しています。

■ 『特許出願のてびき』第38版

創英IPラボ／編 発明推進協会 2022 (市立)
特許を出願して権利を取得するには様々な条件や手続きがあります。出願をする前に知っておくべきこと、すべきことから、制度や手続き方法など、特許の出願に関する必要な事項が詳細に書かれています。第38版では法の改正に対応した上で、現在の電子化に合わせた内容となっています。

■『化学・バイオ特許の出願戦略』改訂11版

細田芳徳／著 発明推進協会 2025 (橋本)

本書では、化学・バイオ分野の発明の特許を出願する際に作成する明細書について主に説明しています。権利を行使する場面を見据え、過去の裁判や事件を例に注意点や重要なポイントを解説しているほか、巻頭には明細書作成時に使えるチェックリストが掲載されています。

※2020年に出版された改訂9版は市立に所蔵があります。

(3) 海外の特許情報を調べる

■『各国産業財産権制度概要一覧』

経済産業調査会／編 経済産業調査会 2023 (市立)

特許・実用新案・商標・意匠の各国の制度を一覧で調べることができます。第1部に特許制度が掲載されており、出願人の資格、各国特有の事項、対象とならないものなど様々な事柄について記載されています。また日本とアメリカの法改正や条約・協定で締結された事項も調べることができます。

■『オーストラリア特許・意匠・商標法』

北元健太／著 経済産業調査会 2023 (市立)

米国や欧州の知的財産法の資料が多い中、これまでにないオーストラリアに特化した一冊です。特許庁での審査に携わり、現地の大学で知的財産法を学んだ著者が、オーストラリアの法制度と特許・意匠・商標の各制度について、一般的なことを含め、特有な事項、手続き方法、有効性などを解説しています。

(4) 判例を調べる

■『論点別特許裁判例事典』第3版 高石秀樹／著 経済産業調査会 2022 (市立)

昭和から令和までの特許に関する裁判例を集積した事典です。各例は論点や勝訴・敗訴ごとに整理されており、実務にも調査にも活用できます。巻頭には本書の利用方法が書かれており、巻末には判例が年次順に並ぶ索引があります。

■『特許判例百選』第6版(別冊ジュリスト No. 275)

田村善之／(他)編 有斐閣 2025 (市立・橋本)

第5版が出版された2019年以降の6年間で出された新たな重要判例を追加し、112件を収録しています。構成や全面的な判例の見直しを行い、最新の情報を盛り込んだ判例解説書です。

3 データベース・Webで調べる

今回ご紹介するオンラインデータベースは、調べものコーナーの専用パソコンを使ってご自身で検索できます。

なお、データベースの印刷については、提供元の許諾の範囲内で印刷可能です(有料)。

(1) データベースで調べる

■D1-Law.com【オンラインデータベース】(大野・橋本)

第一法規が提供している法情報総合データベースです。

法令や判例はもちろん、法に関する文献も検索できます。

■判例秘書 I N T E R N E T 【オンラインデータベース】（市立）

株式会社 L I C が提供している判例情報検索サービスです。

判例時報、ジュリストなどの雑誌に掲載された判例や解説を検索し閲覧することができます。

(2) W e b で調べる

■国立国会図書館「リサーチ・ナビ」 <https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi>

各種資料>規格・特許・テクニカルレポート類>特許

国立国会図書館が提供する調べものの窓口となるサイトです。

■特許庁 <https://www.jpo.go.jp/>

産業財産権を取り扱う特許庁のサイトです。

出願手続きや法令の改正情報、海外の特許情報も見ることができます。

制度、目的、利用者別と様々な角度から知りたい情報を探すことが可能です。

■工業所有権情報・研修館 <https://www.inpit.go.jp/index.html>

特許広報や特許庁の審査、審判に使われる資料の閲覧、知的財産権に関する相談事業などを行う独立行政法人のサイトです。サイト上では、開放特許を検索できるデータベースやeラーニングコーナーがあります。

■J - P l a t P a t （特許情報プラットフォーム） <https://www.j-platpat.inpit.go.jp/>

特許電子図書館（IPDL）が2015年にサービスを終了し、独立行政法人工業所有権情報・研修館が新たに開始した特許情報提供サービスです。

特許公報が見られるほか、実用新案・意匠・商標について検索・閲覧することができます。同じ技術が既にあるかどうかの先行技術調査にも活用できます。

■E s p a c e n e t <https://worldwide.espacenet.com/>

欧州特許庁が提供するデータベースで、1782年から現在までの特許データを調べることができます。日本の特許も閲覧可能です。

■P a t e n t P u b l i c S e a r c h

<https://www.uspto.gov/patents/search/patent-public-search>

アメリカ合衆国特許商標庁（USPTO）が提供する、特許データを検索・閲覧できるツールです。

★図書館にない本を入手するには？

リクエスト（購入希望、または所蔵している図書館からの取り寄せ）ができます。

詳しくは調べものカウンターまたはリクエストカウンターへご相談ください。

★図書館にない雑誌記事を入手するには？

県内の図書館からは雑誌を、国会図書館等からは雑誌記事の複写（有料）を、それぞれ取り寄せることができます。調べものカウンターでご相談ください。

★調べ方がわからなかったら？

図書館では、みなさまの調べもののお手伝いをする「レファレンスサービス」を行っています。お気軽に調べものカウンターでご相談ください。